



里山の自然学校

紀泉わいわい村



施設の概要

【設置者】 大阪府

[担当部局] 環境農林水産部
みどり推進課

【運 営】 公益財団法人大阪YMCA

2003年4月20日より開始

【背 景】 ・金剛生駒国定公園の紀泉地域への拡大

・拡大地域における利用拠点の整備

・環境庁ふれあい自然整備事業の導入

【目 的】 環境と共生していた里山の暮らしを再現し、NPO等との

連携を図りながら、生活体験や自然体験を通じ人材育成などにも努める自然環境学習の拠点として整備



紀泉わいわい村について



里山の暮らしと自然体験を通じて、環境問題への関心を深めることを目的に、大阪YMCAが「里山の自然学校」として運営しています。

家族利用や小学校中学校の学校単位での環境学習、高校・大学のクラブやゼミ、サークルなどの合宿、研修に最適です。

ご希望により自然体験や里山生活体験などの環境教育プログラムを提供しております。





施設の概要

所在地：泉南市信達葛畑(しんだちつづらばた)

敷地面積：4ha(甲子園約3個分)



建物：管理棟、展示棟、食堂、シャワー棟、あずまや、共同トイレ2棟

宿泊棟：宿泊体験棟・大 6棟(定員64名)

宿泊体験棟・小 4棟(定員32名)

キャンプ場：14サイト(112名収容)

野外炊事棟 4棟

体験フィールド：田畑等約5,000m²

施設紹介（宿泊体験棟・大）

全6棟（定員 16名：1棟、10名：4棟、8名：1棟）



- 昔の泉州地域の農家を再現しています
- 中には囲炉裏、へっつい、五右衛門風呂、土間、縁側などがあります（布団、食器、調理用具等常備）

施設紹介（宿泊体験棟・小）

全4棟（定員各棟8名）



- 囲炉裏のある板の間と畳の間の2間構成です（布団・食器・調理用具常備）
- 引率者の宿泊場所等にも便利です
- キャンプ場の共同トイレ、シャワー棟のご利用となります

施設紹介（キャンプ場・野外炊事棟）



- テントサイトは全部で14あり、テント(8人用)
・シュラフ(寝袋)を常備しています
- 野外炊事棟は4棟あり内1棟にはへっついがあります
- かまど数は26あり、鍋・包丁などの調理器具
以外に洗剤等も常備しています
- 石釜ではピザを焼く事ができます



施設紹介（食堂棟）



- 食堂が食材のお渡し場所となります
- 夕食の自炊メニューは8種類からお選びいただけます（1,030円/人：宿泊料金に含まれます）
- BBQ・海鮮鍋の特別メニューもご用意できます（2,000円、2,600円/人：宿泊の方は通常料理との差額が必要です）
- 昼食などにご利用いただける、ダッチオーブン料理や石釜ピザ（4,120円/4人）などの野外自炊メニューもご用意しております。

施設紹介(シャワー棟)



- シャワー棟は男女各10ブース、障がい者対応が1ブースあります
(ボディーソープ・シャンプー・リンス完備)
- 夜22時までご利用いただけます

施設紹介（研修棟）



- 入村式や会議・企業研修など以外にも、雨天時のクラフト、室内ゲーム大会等、幅広くご利用いただけます

施設紹介（四阿/あずまや）



- 昔ながらの藁葺き屋根の四阿で「村の集会場」をイメージした造りです
- 板の間の中央に囲炉裏が備えつけられています
- 広場があるのでイベント会場にご利用いただけます
- 夜のスタンツ大会はムード満点です

里山って？

「里」とは人が住むところ
「山」は自然豊かな場所

「里山」とは、人と自然と一緒に生活
(共存)している場所を指します

つまり、集落、人里に接した山、ある
いはこうした地形において人の影響を
受けた生態系が存在している状態を
指す言葉です



人が下草刈りや間伐を行い手を入れる
ことにより、豊かな山が育ち、人はそこに
住む動植物と共にその恩恵を受けます

里山とは日本固有のものであり、その原
風景はどこか懐かしく心と和みます

そこでの様々な体験は、まさに環境教育
の原点となります

自然の中での「里山生活体験」の効力

自然

環境問題



里山生活
体験

日常生活

環境負荷に対して
今日からできること

人と自然、人と人のつながりを体験的に気づかせ
環境問題と日常生活を橋渡りする

里山自然学校(役割)

「非日常」と「日常」の架け橋

里山での体験(非日常)

森林の中
での体験



昔ながらの
生活を体験



食材や田畑で
作物に触れる



フィールドでの
体験活動



都市生活(日常)

- 木製品選び・紙のリサイクル・都市の緑化活動 など
- エアコンセーブ・涼しさの工夫・衣服で調節 など
- 食品選びの意識(旬と産地)・手作りの安心 など
- 「暮らし方」を考えてみる

林間学校などの1泊2日 プログラム(案)

【1日目】

- 10:30 わいわい村到着
入村式
- 11:00 環境教育学習
周辺散策
- 12:00 昼食
- 13:00 自然体験プログラム①
自然観察会など
- 15:30 野外炊飯・夕食作り
五右衛門風呂体験
- 18:00 夕食
- 19:00 キャンプファイヤー
- 21:00 就寝



林間学校などの1泊2日 プログラム(案)



【2日目】

- 6:30 起床
- 7:00 朝の集い
- 7:30 朝食作り
- 8:30 朝食
- 9:00 部屋の掃除
- 10:00 チェックアウト
- 10:30 自然体験プログラム②
クラフト体験など
- 12:00 昼食 ※食堂で用意することも可能です
- 13:00 自然体験プログラム③
農作業・季節の野菜収穫
- 14:00 振り返り
- 14:30 退村式
- 15:00 わいわい村出発

※「小学校長期自然体験活動指導者(全体指導者)」
がプログラム立案等のお手伝いをさせていただきます

費用について(宿泊基本料金)

1泊2食自炊(夕・朝食)材料込み

団体料金:30名以上

宿泊棟大…大人4,530円

小・中学生3,710円

宿泊棟小…大人4,020円

小・中学生3,710円

燃料費…太薪650円

炭1kg330円など

※燃料費は自炊・五右衛門風呂・キャンプファイヤー
等で使用した分のご請求になります



費用について(宿泊時プログラム等)

- 昼食自炊材料代 830円～1,030円程度(内容によって異なります)
弁当注文の場合 420円より(ご予算に応じます)

- キャンプファイヤー薪組代 3,100円

- クラフト代 200円～500円程度(内容によって異なります)

- プログラム指導料 10,800円

キャンプファイヤー・ハイキング・イニシアティブゲーム・環境教育など指導をさせていただく場合必要となります(クラフト説明・自炊説明などは含みません)

- 定食代(自炊メニューを定食にした場合) ※団体利用のみ

夕食1,650円

基本料金に含まれる夕食材料代1,030円
との差額+620円となります)

朝食930円

基本料金に含まれる朝食材料代620円
との差額+310円となります)

昼食 1,140円



日帰り遠足などのプログラム(案)

- 10:00 わいわい村到着
入村式(挨拶、オリエンテーション)
- 11:00 昼食自炊開始
メニュー:カレーなど
ナタの使い方など説明
ex.各炊事棟にスタッフ1名配置
- 12:00 昼食
- 13:00 片付け
- 13:30 自然体験プログラム
スタンプラリーなど
- 14:30 退村式
- 15:00 わいわい村出発

※「小学校長期自然体験活動指導者(全体指導者)」が
プログラム立案等のお手伝いをさせていただきます



スタンプラリーの例

わいわいクロスワード

～見て、読んで、自由なアクション！～




○マスに答えを入れてください。
★ 広場エリア

①はな 雪からの雪の嵐、茶くて霜がつかっています。
②はな 葉やそばを原料にする雪の嵐、原料地にあるよ。
③はな わいわい村は〇〇〇〇と称されています。自然と人が仲良く暮らしている場所をひらびらで〇〇〇〇と呼びます。
④はな 雪の人はこのみまでご飯を食べていました。道端が雪の早にあるよ。

★ キャンプ場エリア

⑤はな 緑い水で育てるきのこ。
⑥はな 水辺の生き物が集まるため池です。
⑦はな 雪がとる場所になります。(※文字)
⑧はな 雪の嵐に見られる菌類です。雨がきらいにやないといひよ。
⑨はな 雪の嵐、おいしいお茶を待ちます。

★ キャンプ場エリア

⑩はな 雪の嵐の嵐雪だ、嵐の嵐がないよ。
⑪はな この生き物は雪がなくてこわい、食をつけて！
★ 広場のエリアで見つけられるよ！

⑫はな わいわい村の村にはこの動物が地産をたくさん産んでたくさんあるよ！ 鶏に似た…
⑬はな もともとは雪の嵐です。ペットとして飼われていた動物が逃げられ、帰ってしまいました。雪の嵐に雪が積ってあるよ。

アルファベットに入る文字を
組合せて2つの言葉を作ろう！

①
(AからDの文字を組み合わせてお)

②
(EからGの文字を組み合わせてお)

キャンプ場エリア
広場エリア
畑エリア



しぜんたからさがし♪



きれいな はな	よつばの クローバー	きのみ	おさかな
たんぼぼ	ておし ぼんぶ	ちょうちょ	きのこ
むしさん	ふと いき	しかくい いし	木のほし
とりさん	むかしの おうち	おおきな はっぱ	おやさい

みつけたものに○をつけよう！いくつそろうかな？
とってもだいじょうぶなものは、あつめておこう！
さいごにどんなものを見つけたか
おともだちとおはなししてみよう

いろいろなものが
みつかったかな??



費用について(日帰り)

日帰り利用料・・・550円

昼食自炊材・・・830円～1,030円

カレーライス、炊込みご飯、クリームシチュー
石釜ピザ、手打ちうどん、バームクーヘンなど

燃料費・・・太薪650円

炭1kg330円など

※燃料費は使われた分のご精算となります



里山の自然学校 紀泉わいわい村

最後まで読んでいただき
ありがとうございました



(財)大阪YMCA